

あなたなら きっと できる！

Yes、You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第14号 平成31年2月28日発行

★合格体験記★ ～大学進学編～

今回は、東京女子体育大学の大学進学を決めた、高3のK・Hさんの合格体験記です。今年度、進学者の中で一番最初に合格を手にした、努力の体験秘話です。



「実現するまでの長い道のり」

私の進学先は「東京女子体育大学」です。私が進路を決めるまでの道のりを書きたいと思います。

私が大学への進学を決めたのは高1の時です。しかし、当時の私にはやりたい事がありませんでした。高2の初めには、広告デザインに興味がありました。6月に大正大学と淑徳大学、7月に目白大学のオープンキャンパスに行きました。地元の手話通訳者を依頼し、母と一緒に見に行きました。淑徳大学の体験講義はとても興味深かったですが、それ以外は通いたいと強く思いませんでした。高2の冬は興味が心理学に変わりました。インターネットで私が気になった大学のパンフレットをたくさん取り寄せました。その中から大学を絞り、情報保障があるかどうか母に電話をしてもらいました。情報保障がない大学はやめました。3月に和光大学と大正大学のオープンキャンパスに行きました。目白大学は母に電話で学校見学の予約をもらい、説明を聞きに行きました。いくつかの大学の講義を受けて気づいたことがありました。それは、90分間、いや一日中ずっと座って講義を受けることが私には向いていないことでした。それでも進学したかったのは、単純に大学生活に憧れていたからと、すぐに働きたくなかったからです。

そこで私に合う学科、または合う大学はどこが良いか改めて考え直しました。体を動かすことが好きだから体育大学にしようと思い決めました。高3の6月に日本女子体育大学と東京女子体育大学のオープンキャンパスに行きました。東京女子体育大学の体験講義はとても印象に残り、また、大学生の皆さんにしてもらったことが良かったです。大学の雰囲気も良くて、初めて「この大学に通いたい」と強く感じました。私は東京女子体育大学に行くことを決め、AO入試で受験をしました。試験の内容はエントリーシートと面接でした。高3の7月から受験に向けて必死に取り組みました。エントリーシートは、自分をアピールするものですが、自分なりの考えを言葉で書くのは簡単ではありませんでした。完成するまで学校の先生達や塾の先生に数十回も見直してもらいました。面接の練習も何度もやりました。その結果、無事に合格しました。正直ほっとしています。

もし、あなたが進学を考えているならば、これだけはやった方がよいと思うこと伝えます。まず、将来自分は何をやりたいのかを考えてください。決まっている場合は、それに合う大学を積極的に探してください。オープンキャンパスも高3の時ではなく、高1・2の時、今のうちにどんどん行くべきです。逆になかなか目標や、やりたいことが見つからない場合は、少しでも気になった大学や興味を持った学科がある大学のオープンキャンパスへ行ってください。「通いたい」「行きたい」と決めた大学の受験対策をすぐに始めて下さい。全てを高2の終わりや高3になった時からやるのは正直手遅れです。そこから始めてももう遅いです。部活が忙しいからと進路を後回しにしないで下さい。それは言い訳です。本当に進学を考えているならば、「今」のうちにどんどん積極的に取り組んで下さい。やるかやらないかだけで、あなた自身の人生が大きく変わります。決めるのは親でもない、先生でもない。あなた自身です。

私は陸上を続けると決めたので、この先の大学生活がどうなるか楽しみです。